

調査概要

- **調査テーマ** 【子ども調査】子どもの生活と学習に関する意識と実態
【保護者調査】保護者の子育て・教育に対する意識と実態
- **調査方法** 郵送およびインターネットによる自記式質問紙調査 ※回答者がいずれかの方法を選択。
- **調査時期** 2015年7～8月
- **調査対象** 全国の小学4年生から高校3年生の子ども、小学1年生から高校3年生の保護者

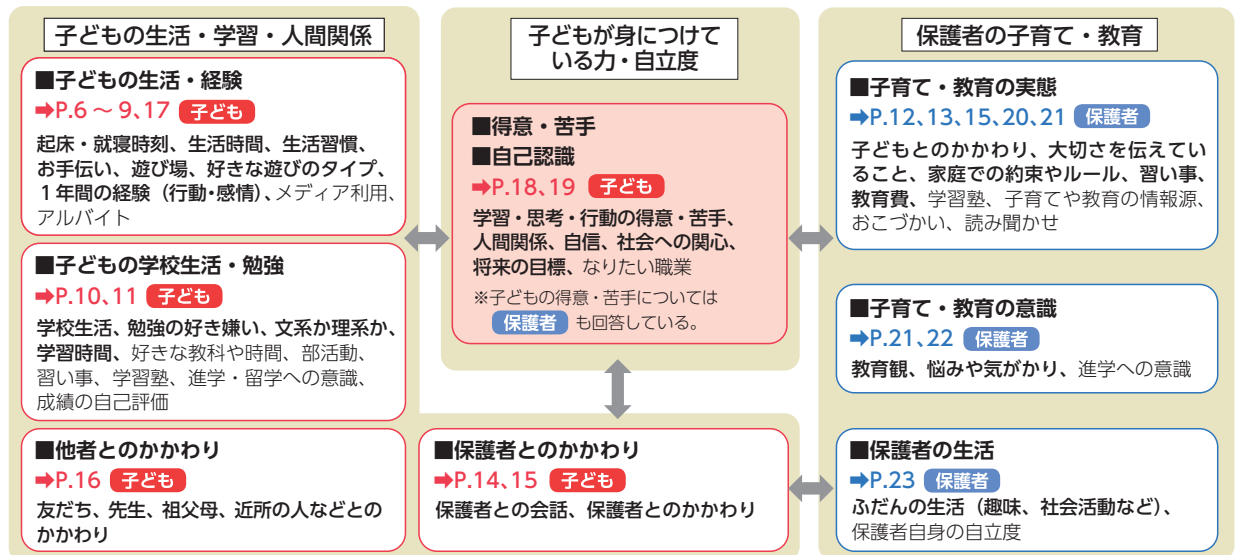
学年	子ども・保護者	子ども			保護者	
	発送数(組) (調査モニター組数)	有効回収数 (人)	有効回収数 (%)	有効回収数 (人)	有効回収数 (%)	
小学1年生	5,504	—	—	—	1,755	85.5%
小学2年生		—			1,434	
小学3年生		—			1,510	
小学4年生	5,080	1,345	3,972	78.2%	1,345	78.2%
小学5年生		1,292			1,293	
小学6年生		1,335			1,336	
中学1年生		1,343			1,351	
中学2年生	5,379	1,366	4,091	76.1%	1,384	76.8%
中学3年生		1,381			1,393	
高校1年生	5,606	1,267	3,919	69.9%	1,287	70.7%
高校2年生		1,291			1,302	
高校3年生		1,360			1,374	

※本研究プロジェクトの「調査モニター」全員に、調査票を配布した。

※「調査モニター」は、全国の小学1年生～高校3年生のリストから、全国7地域の児童・生徒比率(文部科学省「学校基本調査」平成25～26年度)に応じて抽出した「調査モニター募集対象者」に対して、2014年2月から2015年5月にかけて募集した。

※学年別の「有効回収数」は、回収した調査票のうち、学年が不明な票を除いた数。

- **調査設計** 「子どもの生活・学習・人間関係」の意識・実態や「保護者の子育て・教育」の意識・実態が、「子どもが身につけている力」や「自立」の程度とどのように関連しているのか、また、それらが高校卒業時点での「自立」にどのようにつながっていくのかを明らかにできる設計である。



※上記以外に、子どもの属性、保護者の属性に関する項目を尋ねている。

※小学1～3年生は、子どもの項目の一部を保護者が回答している。

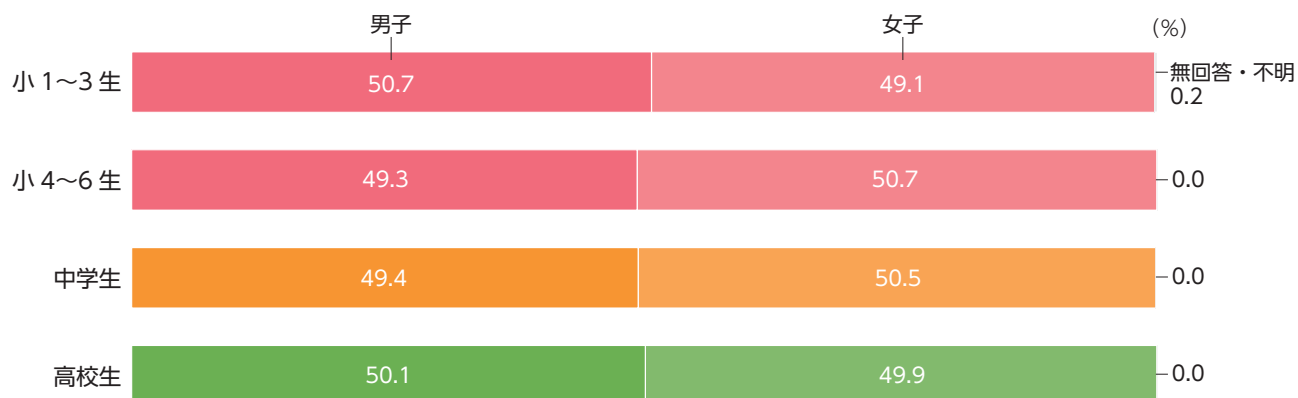
※本速報版に掲載している項目を太字で示している。

● データを読む際の注意点

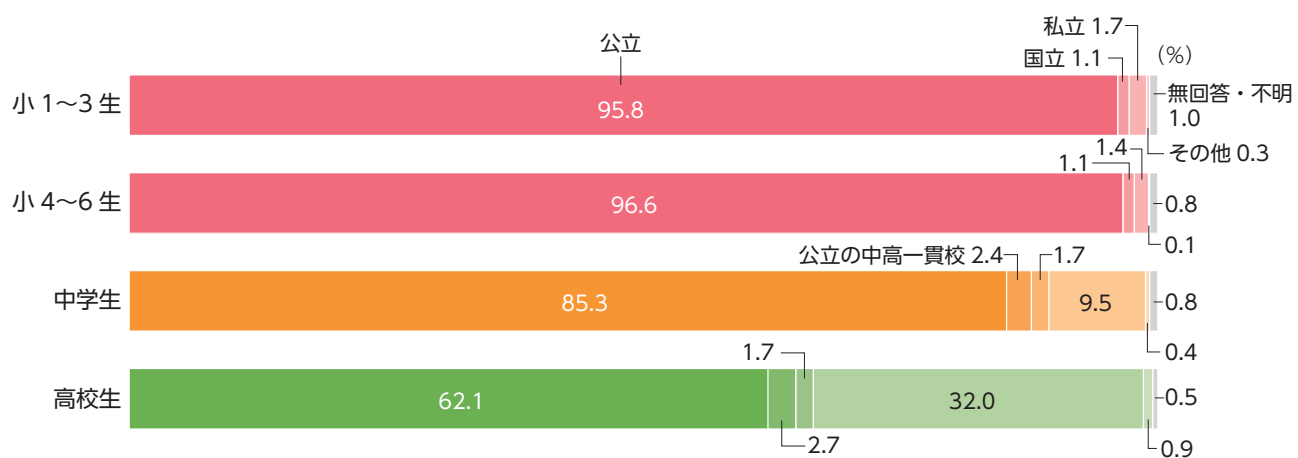
- ①本文中では、小学1年生を「小1生」のように表記している。また、中学1～3年生を「中学生」、高校1～3年生を「高校生」と表記している。
子どもは子どもの回答、保護者は保護者の回答を示している。
- ②図表において、1学年ごと、あるいは3学年ごと(小1～3生、小4～6生、中学生、高校生)の有効回収数すべてを集計している場合は、人数を示していない。
- ③図表で使用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。

基本属性

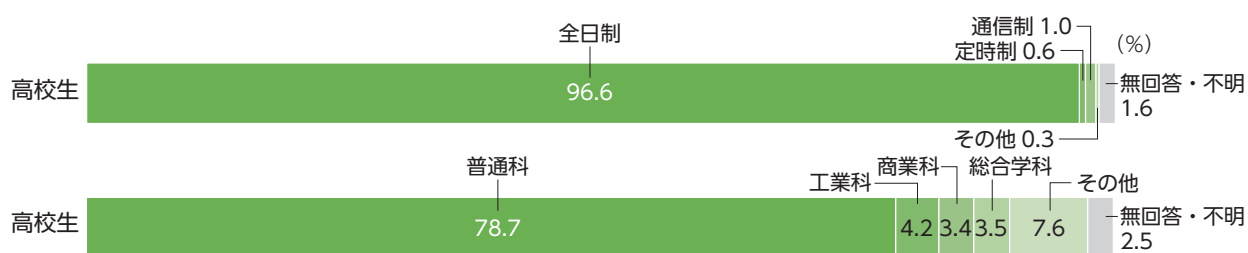
●子どもの性別(学校段階別)



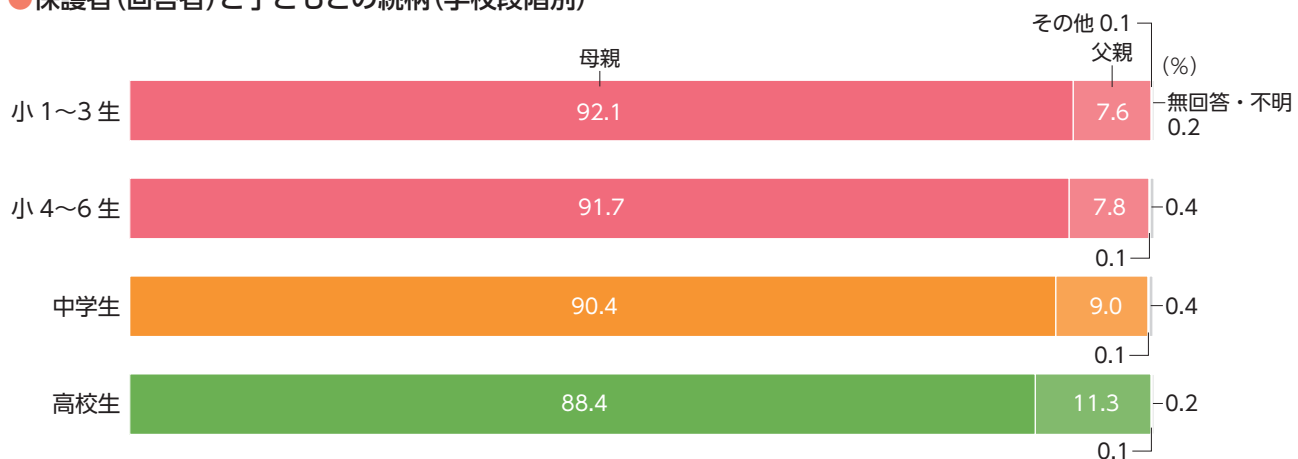
●子どもが通っている学校の種類(学校段階別)



●子どもが通っている高校(課程・学科)



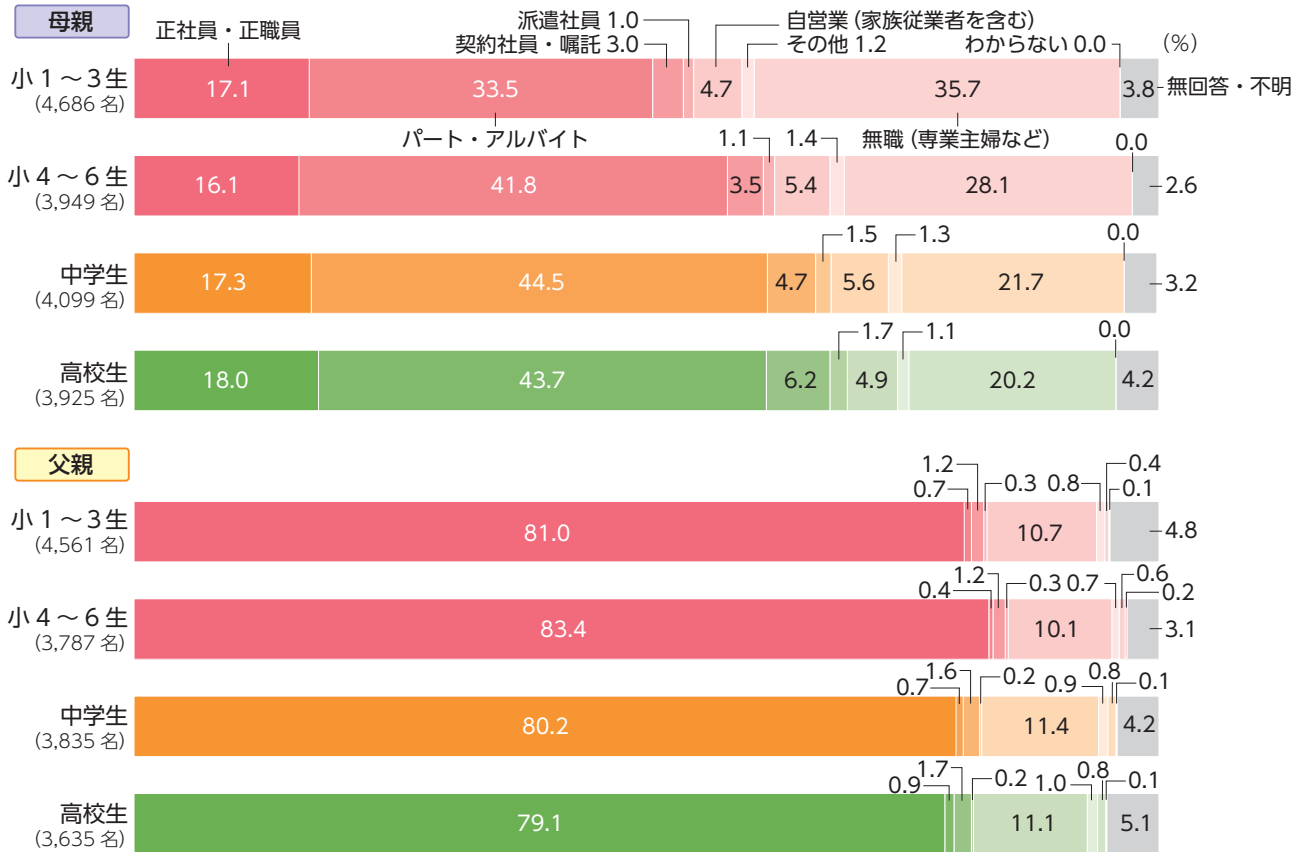
●保護者(回答者)と子どもとの続柄(学校段階別)



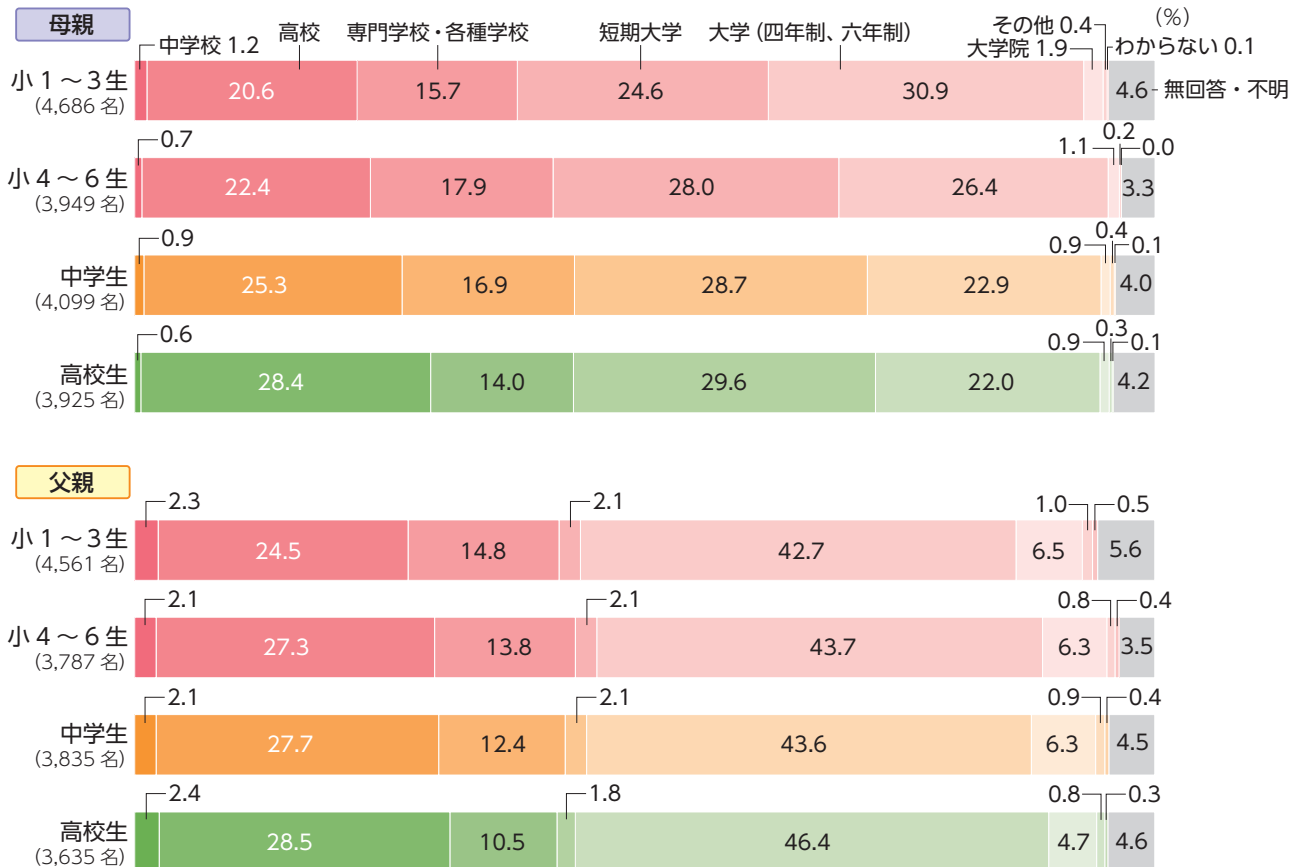
注 「その他」は「祖母」「祖父」「その他」の%。

基本属性

●保護者の就業状況



●保護者の最終学歴



注 保護者の就業状況と最終学歴は、本人と配偶者についての回答をもとに算出。配偶者が「いない」および無回答・不明の場合は除いている。